

Course number		U-LAS00 10009 LJ34					
Course title (and course title in English)		西洋社会思想史 I History of Western Social Thought I			Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer,MATSUMOTO KEIJIROU
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Philosophy(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	Number of credits 2
Number of weekly time blocks		1	Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters 2025・First semester
Days and periods		Mon.2		Target year		All students	Eligible students For all majors
[Overview and purpose of the course]							
西洋の歴史において「社会」はどのように考えられてきたのか。そして、現代の日本に生きるわれわれは「社会」をどのように考えるべきなのか。授業では、古代から近代はじめまでの代表的な思想家の著作からの抜粋を解説しながら、この二つの問いを探究していく。							
[Course objectives]							
・西洋社会思想史（古代から18世紀頃まで）の基礎知識を身につける。 ・歴史的な厚みをもって「社会」について考えることができるようになる。							
[Course schedule and contents)]							
本授業（I）では、導入的な話のあと、古代から近代に現れた社会思想を検討していく。 第1回 導入——共同存在としての人間への問い 第2回 なぜ思想史を学ぶのか 第3回 プラトン（1） 第4回 プラトン（2） 第5回 アリストテレス（1） 第6回 アリストテレス（2） 第7回 アウグスティヌス（1） 第8回 アウグスティヌス（2） 第9回 トマス・アキナス（1） 第10回 トマス・アキナス（2） 第11回 マキアヴェッリ（1） 第12回 マキアヴェッリ（2） 第13回 ホッブズ（1） 第14回 ホッブズ（2） 最終回 フィードバック							
[Course requirements]							
None							
Continue to 西洋社会思想史 I (2) ↓ ↓ ↓							

西洋社会思想史Ⅰ(2)

[Evaluation methods and policy]

授業では毎回課題を出す。成績は、「授業への参加態度」(40%)と「課題に対する回答」(50%)、ならびに学期末の「レポート」(10%)によって評価する。詳細は初回講義時に説明する。

[Textbooks]

授業で使う資料は、コピーを配布する。

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

授業で扱う資料を必ず読んでくること。十分な予習が必要である。

[Other information (office hours, etc.)]

原典を読みながら考える。そのなかでさまざまな問いを見つけ出して、さらに考える。大人数の講義形式の授業ではあるが、できる限りそのようなことを行って、知識の習得にとどまらない思想的な知の営みを経験してほしいと思っている。

適正授業規模の範囲内で行うため、履修人数制限を行う。